

2014年11月12日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 コード番号: 4324)

平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績に関するお知らせ

国内は単体売上高が前年同期比2.4%増

海外の売上総利益のオーガニック・グロースは同9.0%増

アーンアウト債務再評価損益控除ベースののれん等償却前営業利益は

449億3百万円(同18.5%増)

株式会社電通(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員:石井 直、資本金:746億981万円)は、平成26年11月12日、東京・汐留の電通本社ビルで取締役会を開き、平成27年3月期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日~9月30日)における連結および単体の決算を確定いたしました。

<上期の決算概況>

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加、雇用や賃金の持ち直しなどにより、全体としては緩やかな回復基調を維持しているものの、消費税増税により消費が落ち込むなど一部に弱さが見られました。一方、世界的には、米国経済は堅調に推移しているものの、新興国における成長率の鈍化や相次ぐ政情不安により先行き不透明な状況が続きました。

こうした環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、日本国内では、当社単体の売上高が前年同期に比べ2.4%増加しました。消費税率引き上げの影響があったものの、2014 FIFA ワールドカップ ブラジル™の貢献もあり、前年同期を上回ることができました。また、当第2四半期連結累計期間における電通の海外本社「電通イージス・ネットワーク」の売上総利益のオーガニック・グロースは、昨年来獲得した新規クライアントの貢献もあり、前年同期比9.0%増と二桁近い伸びを記録しました。地域別に見ても、EMEA:ヨーロッパ、中東およびアフリカ(同8.6%増)、Americas:米州(同4.9%増)、APAC:アジア太平洋(同15.1%増)と、いずれも前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1兆1,368億78百万円(前年同期比5.0%増)、売上総利益は2,956億74百万円(同9.8%増)となりました。買収した企業の業績好調により、将来支払うべきアーンアウト(注1)の評価額が増加したことや、円安により円ベースの

のれん等償却額が増加したことにより、会計上、販売費及び一般管理費が増加したことなどから、のれん等償却前営業利益は 392 億 25 百万円（同 2.2%減）、営業利益は 146 億 6 百万円（同 24.3%減）、経常利益は 209 億 52 百万円（同 12.9%減）、四半期純利益は 28 億 22 百万円（同 72.1%減）となりました。

なお、アーンアウト債務の再評価損益控除ベースののれん等償却前営業利益は、449 億 3 百万円で、前年同期(注 2)に比べ 18.5%の増加となりました。のれん等償却前営業利益は、会計上の営業利益に、買収により生じたのれん償却額およびその他無形固定資産償却額を足し戻したものです。

(注 1) アーンアウトとは、企業買収時に買収対価を一括で支払わず、一定の条件を付けた分割払いとした場合の買収後における支払義務をいいます。一般的には、買収を行う際に売り手との間に、買収後一定期間内の業績について条件を設定し、当該期間の実際の業績に応じアーンアウトの金額を変動させます。アーンアウトについては、買収時点での業績見通しに基づく評価額を計上していますが、買収後の業績が買収時点での見通しを上回った（下回った）場合には、その評価額が増加（減少）することになり、その増加（減少）額をその都度費用（収益）として認識することになります。

(注 2) 前年同期についても、アーンアウト債務再評価損益控除ベースで比較

当第 2 四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

a. 広告業

広告業では、売上高が 1 兆 1,048 億 96 百万円（前年同期比 4.9%増）、売上総利益は 2,855 億 8 百万円（同 10.5%増）、セグメント利益は 126 億 55 百万円（同 26.8%減）でありました。

b. 情報サービス業

情報サービス業では、売上高が 365 億 32 百万円（前年同期比 6.5%増）、売上総利益は 99 億 99 百万円（同 3.7%減）、セグメント利益は 8 億 5 百万円（同 10.7%増）でありました。

株式会社電通国際情報サービスのグループ各社が当セグメントの対象会社となります。

c. その他の事業

その他の事業では、売上高が 78 億 84 百万円（前年同期比 0.9%減）、売上総利益は 16 億 40 百万円（同 7.7%減）、セグメント利益は 3 億 63 百万円（同 13.6%減）でありました。

なお、海外子会社など決算日が 12 月 31 日の会社については、原則として当第 2 四半期連結累計期間には、平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日の 6 ヶ月間の実績を反映しています。

また、連結業績には当社単体の業績が大きく影響していますが、当第 2 四半期連結累計期間における当社単体の業績は、売上高が 7,348 億 8 百万円（前年同期比 2.4%増）、売上総利益は 1,074 億 13 百万円（同 6.7%増）、営業利益は 232 億 26 百万円（同 26.3%増）、経常利益は 433 億 32 百万円（同 45.8%増）、四半期純利益は 333 億 75 百万円（同 44.3%増）でありました。

当第 2 四半期累計期間の連結業績および単体業績の詳細につきましては、

<http://www.dentsu.co.jp/ir/> をご覧ください。

■参考：連結決算の範囲

連結決算の範囲となる「連結子会社」は 681 社、「持分法適用関連会社」は 56 社、所在地別では「日本」94 社、「海外」643 社、事業別では「広告業」713 社、「情報サービス業」17 社、「その他の事業」7 社であります。

<通期の業績見通し（IFRS）>

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 3 月期決算から連結財務諸表および連結計算書類について、従来の日本基準に替えて国際会計基準（以下 IFRS）を任意適用することを決議いたしました。IFRS による平成 27 年 3 月期通期連結業績予想は下記のとおりです。

また、配当予想につきましても修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

| | 収益 | 売上総利益 | 営業利益 | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 基本的 1 株当たり当期利益 |
|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|
| 今回公表予想 | 百万円 702,500 | 百万円 655,700 | 百万円 104,700 | 百万円 60,000 | 円 銭 208.07 |
| （ご参考）従来予想 | 669,300 | 626,600 | 101,700 | 58,700 | 203.56 |
| （ご参考）前期実績 （平成 26 年 3 月期） | 643,284 | 598,166 | 108,599 | 66,507 | 230.63 |

（注）将来の事象に係る記述に関する注意

本業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断をしたものであり、潜在的なリスクや不確定要素等の要因が内在しています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

平成27年3月期 第2四半期連結累計期間の業績

自 平成26年 4月 1日
至 平成26年 9月30日

株式会社 電 通

・当第2四半期連結累計期間の業績(記載金額は百万円未満を切り捨て表示)

(1) 四半期連結貸借対照表

| 科 目 | | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) | 増減率 (▲は減) |
|-----------------------|-------------|-------------------------|------------------------------|--------------|
| 資産 の 部 | 流動資産 | 1,368,385 | 1,259,260 | ▲8.0% |
| | 固定資産 | 1,269,933 | 1,250,749 | ▲1.5% |
| | 資産合計 | 2,638,319 | 2,510,010 | ▲4.9% |
| 負債 の 部 | 流動負債 | 1,253,263 | 1,160,522 | ▲7.4% |
| | 固定負債 | 476,560 | 461,097 | ▲3.2% |
| | 負債合計 | 1,729,824 | 1,621,619 | ▲6.3% |
| 純 資 産 の 部 | 株主資本 | 715,828 | 704,267 | ▲1.6% |
| | その他の包括利益累計額 | 167,289 | 157,510 | ▲5.8% |
| | 新株予約権 | — | 48 | — |
| | 少数株主持分 | 25,377 | 26,563 | +4.7% |
| | 純資産合計 | 908,495 | 888,390 | ▲2.2% |
| 負債及び純資産合計 | | 2,638,319 | 2,510,010 | ▲4.9% |

(2) 四半期連結損益計算書

| 科 目 | 前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日～9月30日) | 増減率 (▲は減) |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------|
| 売上高 | 1,082,360 | 1,136,878 | +5.0% |
| 売上総利益 | 269,193 | 295,674 | +9.8% |
| 営業利益 | 19,284 | 14,606 | ▲24.3% |
| 営業外収益 | 11,458 | 12,329 | +7.6% |
| 営業外費用 | 6,694 | 5,984 | ▲10.6% |
| 経常利益 | 24,049 | 20,952 | ▲12.9% |
| 特別利益 | 3,224 | 1,495 | ▲53.6% |
| 特別損失 | 3,325 | 1,308 | ▲60.6% |
| 税金等調整前四半期純利益 | 23,948 | 21,139 | ▲11.7% |
| 四半期純利益 | 10,134 | 2,822 | ▲72.1% |

(3) 四半期連結包括利益計算書

| 科 目 | 前第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日～9月30日) | 増減率 (▲は減) |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,700 | 5,306 | ▲50.4% |
| その他の包括利益合計 | 83,328 | ▲9,869 | — |
| 四半期包括利益 | 94,028 | ▲4,562 | — |